

# とうほく街道会議第8回交流会 会津五街道ウオーク合同大会



報告書（概要版）

平成24年7月21日(土)及び22日(日)、「蘇れ東北 会津から元気を!」をテーマに「とうほく街道会議第8回交流会」が「会津五街道ウォーク」との合同大会として、福島県南会津郡下郷町を中心に開催された。その概要を大会報告書から抜粋したものです。

## プログラム

### ● 7月21日(土) 交流会

**オープニング** 13:00～13:30 ●下郷町ふれあいセンター

- 三志神楽(郷土芸能)
- 実行委員長挨拶(下郷町長)
- 来賓挨拶

**基調講演** 13:30～15:00 ●下郷町ふれあいセンター

演題 「異文化としての日本」 講師 椎名 誠氏

(移動)

**分科会** 16:00～17:30 ●大内宿

**第1分科会** 参加者を交えた意見交換会

『茅を葺く』 茅葺きの里(宿場町)の将来について語り合う

**第2分科会** 参加者を交えた意見交換会

『地域を守る』

震災の東北・水害の会津、防災上における道路(街道)の重要性について語り合う

**街道談義** 18:00～20:00 ●大内宿

(懇親会)

### ● 7月22日(日) 街道ウォーキング

#### Aコース

下野街道(会津西街道) 9:00～12:00

集合場所 下郷町ふれあいセンター駐車場 9:00 集合  
行程 南会津町 萩野→山王峠→横川(約4km)

#### Bコース

松川街道(会津中街道) 9:00～14:00

集合場所 下郷町ふれあいセンター駐車場 9:00 集合  
行程 下郷町 杉の沢一里塚→日暮の滝一里塚 (8km)

#### Cコース

銀山街道 9:00～14:00

集合場所 柳津町役場駐車場 9:00 集合  
行程 久保田三十三観音→松ヶ下→峠→軽井沢銀山跡(4km)

#### Dコース

会津まほろば街道 9:00～15:00

集合場所 会津美里町新鶴支所 9:00 集合  
行程 中田観音→法用寺→龍興寺→門前横町美里蔵(9.5km)

【椎名誠氏プロフィール】

1944年東京都生まれ。作家。1979年より小説、エッセイ、ルポなどの作家活動に入る。これまでの主な作品は『犬の系譜』(講談社)、『岳物語』(集英社)、『黄金時代』(文藝春秋)など。近著は『あやしい探検隊 北海道物乞い旅』(角川書店)。最新刊は『足の力力をかじるイヌ』(本の雑誌社)、『国境越え』(新潮社)。エッセイは、週刊文春連載中の赤マントシリーズが20年以上続いている。旅の本も数多く、モンゴルやパタゴニア、シベリアなどへの探検、冒険ものなどを書いている。趣味は焚き火キャンプ、どこか遠くへ行くこと。(2012年4月現在)

## 第1日目(21日)交流大会 [下郷町ふれあいセンター、分科会からは大内宿]

オープニングに先立つ郷土芸能として、大正末期頃に地元青年団によって始められた大変におもしろおかしな「山志神楽」が演じられました。



### ◆基調講演「異文化としての日本」 講師／椎名 誠氏(作家・エッセイスト・写真家ほか) [参加者320名]

椎名氏は、奥会津の金山町で映画撮影したことをきっかけに、何度も金山を訪れているそうです。

雰囲気そのままの親しみやすい話し方で、作家としての彼の日常や、極寒の地での生活など世界各国を旅しての体験談を披露されました。

日本の豊かで美しい自然や澄んだ水、文化などは、世界的にも類い希なもので、私たちはその大切さを決して忘れてはならない。また、日本ならではの文化や道などを海外と比較しつつ、ユーモアも交えた興味深い話でした。特に、日本の水道事情やトイレの話など、世界の旅先で感じた日本の不可思議さ・異常さの話しに、会場は大きな拍手に包まれていました。



### ◆第1分科会「茅を葺く」

[大内宿／米屋 参加者55名]



(語り人)

大内宿結いの会会长佐藤義孝氏／岩瀬湯本  
湯口屋旅館館主星 完治氏／天栄村教育委  
員会課長小山志津夫氏／福島県喜多方建設  
事務所建築住宅部長新関 永氏

(コーディネーター)

ふくしまけん街道交流会世話人鈴木勝徳氏

佐藤氏より「全国茅葺きフォーラムについて」の事例発表後、それぞれの立場・経験から意見交換が行われ、茅葺き屋根は素晴らしい財産で大切であるが、個人での維持管理は困難という大変大きな課題であること。そういうものに対しては、行政の支援はむろん、地域の連携・世代間でつないでいくというような取り組みを考えていかなくてはいけないこと。また、金・人・ものの3つがうまくつながっていないと地域もうまく維持出来ないということが確認されました。

### ◆第2分科会「地域を守る」

[大内宿／集会所 参加者89名]

(語り人)会津柳津温泉月見亭代表取締役武田美恵子氏／季の郷湯ら里支配人目黒典子氏／

国土交通省郡山国道事務所長酒井洋一氏／万世大路研究会代表阿部公一氏

(コーディネーター) 福島県南会津建設事務所長高橋直正氏



高橋氏より、3. 11東北地方太平洋沖地震、H23年台風15号及びH23年7月新潟・福島豪雨の被害状況について説明があった後、目黒・武田両氏からH23年7月豪雨での被災体験や被災状況の話がありました。復興など地域で頑張っている方々がそれぞれの思いを語り合い、その思いを共有することで、復興や更なる地域振興に向けて連携を深めていく

ことを確認しました。また、これらの災害において道路の大切さを再認識するとともに、今後の復興に際し、道路のあり方を共に考える機会ともなりました。

### ◆街道談義 [大内宿／山本屋・みなどや 参加者132名]

参加者が大変に多いことから大内宿の街道を挟んで向かい合う「山本屋」と「みなどや」に分かれましたが、行ったり来たりや街道脇の庭先での賑やかな街道談義となりました。



### 第2日目(7月22日)街道探訪会 [参加者 4コース計207名]

#### ◆Aコース「下野街道(会津西街道)」 参加者 42名

福島県会津若松市から日光街道の宿駅、栃木県日光市今市に至る延長約128kmの街道であり、別に「南山通り」「今市街道」「日光街道」と言った呼び名もあります。

【コース】下郷町ふれあいセンター⇒南会津町萩野（国道121号分岐点）～山王権現社跡～山王峠頂上  
(馬頭観音石仏・栃木県境・分水嶺)～杉並木の道～栃木県日光市(ポケットパーク)⇒  
奥会津博物館(昼食)⇒下郷町ふれあいセンター      ※バス移動は⇒、ウォーキングは～で示す。(以下同じ)



現国道121号との分岐点から三島通庸による会津三方道路の一つ(旧国道121号)を歩き、下野街道への分岐点から奥会津博物館渡部康人学芸員から下野街道・山王峠に関する説明や案内により、スタートから約50分で山王峠の山頂に到着、この嶺は日本海と太平洋の分水嶺となっており、山頂には馬頭観音の石仏が安置されています。ここからは、栃木県側へと急斜面をつづら折りで下り、随所に実行委員が整備した階段やトラロープの安全対策が施されており、安心して歩くことが出来ました。その後、奥会津博物館の敷地内にある中付驚者(なかつけどしゃ)専用の馬宿(旧大竹家住宅)で昔を偲びながら、弁当と漬け物の昼食頂きながら和やかなひと時を過ごしました。

#### ◆Bコース「松川街道(会津中街道)」 [参加者 49名]

会津若松市から栃木県さくら市に至る延長100kmの街道であり、別に「松川新道」「宇都宮街道」と言った呼び名もあります。また、栃木県側からは「会津中街道」「会津北街道」とも呼ばされました。

【コース】下郷町ふれあいセンター⇒杉ノ沢一里塚～観音沼観世音堂～野際一里塚～野際宿民家(昼食)⇒兜石⇒日暮ノ滝一里塚～日暮ノ滝展望台⇒下郷町ふれあいセンター



杉沢一里塚から、途中に茶屋場跡や道標を見ながら観音沼に到着し、沼の傍らに立つ嶽観世音堂に参拝しました。そして、野際一里塚から野際宿の面影を残す築100数十年を過ぎた貴重な民家(星家)に昼過ぎ到着し、弁当にみそ汁、漬け物の昼食をいただきました。星家の前では、約300年前の松川街道開削当時の「会津中街道道中絵巻」や松川街道の写真資料などの説明がありました。午後は、バスにより、これより先は馬による輸送が困難という「奥州駒返しの碑」、「兜(甲)石」を経て、最終地点である日暮ノ滝一里塚に到着し、日暮ノ滝も展望台から眺めました。この滝は参勤交代の途中に日が暮れたところから名付けられたと言われ、水量はかなり多く見事な景観の滝でした。

## ◆C コース「銀山街道」

[参加者 64 名]

会津盆地と奥会津の諸郷を最短距離で結ぶ古の道であり、会津若松市を起点として、会津美里町中田、松坂峠、銀山峠、大谷峠、美女峠、吉尾峠を経、只見町小林で沼田街道（現国道289号線）に繋がります。

【コース】柳津町役場⇒久保田三十三観音⇒松ヶ下～大峯（ピューポイント・飯豊連邦を望む）～峠入り口（昼食）～銀山峠～愛宕神社（溶鉱炉の煙突が見える）～軽井沢銀山跡地⇒柳津町役場



軽井沢銀山跡溶鉱炉の煉瓦造煙突

「久保田三十三観音」では「銀山峠を復活させる会」からの説明をいただきました。その後、松ヶ下集落の街道入口から峠を目指してウォーキングを開始し、きれいに整備され緩やかな傾斜の雑木林の小立が続き、涼しくて快適に歩くことが出来ました。峠頂上付近の昼食では「山菜汁」もご馳走になりました。午後は、銀山に向けて、峠頂上の夫婦松を過ぎ、かなり緩やかな中腹路を歩き、愛宕神社の祠からは一気に下り15分ほどで軽井沢銀山跡地に到着、思い思いに散策した後バスが待つ県道まで歩きました。当日はウォーキングに適した曇り空で参加者は心地よい汗を流すことが出来ました。また、配られた柳津温泉無料入浴券を手に温泉を楽しんだ参加者もいました。

## ◆D コース「会津まほろば街道」

[参加者 52 名]

会津盆地の西側を南北に走る現在の県道喜多方会津坂下線・赤留塔寺線です。古の時代、修験者が歩く街道として利用され、沿線には国宝・重文に指定されている寺社・仏閣が多く存在しています。



法用寺の三重塔

【コース】会津美里町新鶴庁舎～中田観音～法用寺～龍興寺～美里蔵  
⇒会津美里町新鶴庁舎

中田観音・法用寺・龍興寺では、会津美里町の観光ボランティアガイドから建物や仏像、歴史文化などについて説明があり、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていました。特に、法用寺では地元の方々のご厚意によりお堂や三重塔の内部まで拝観することができました。蓮の花が満開の龍興寺では、会津美里町長からごあいさつをいただきました。ゴールの美里蔵（高田インフォメーションセンター）では、ホルモン祭りが開催されており参加者も舌鼓を打ちました。当日は晴天にも恵まれ、緑かがやく爽やかな田園風景の中、「会津まほろば街道」ウォーキングを満喫することができました。

### 参加者内訳及びアンケート結果

- ・参加者数は、第1日目322名、第2日目207名、2日間合計417名（延べ529名）の参加いただきました。地域別には、福島県内が358名（86%）ですが、県外から59名（14%）と多くの参加がありました。
- ・基調講演・分科会は7割、街道ウォーキングはほぼ全員が良かったなど好意的な回答となっています。



